

2026年度行動計画

(破線内は第3次中長期経営計画を示す)

**【基本方針】** 次代を拓く選ばれる大学へ、さらなる発展を一丸となって実現する  
 ・次代を担う「テクノロジスト」を育てる  
 ・誰もが知る、社会・産業界・地域に貢献する大学になる  
 ・学生が希望を持って学び、教職員がやりがいを持って働く元気な大学になる

**【めざす姿】**  
 日本の未来を担う『生き抜く力』『たくましい知性と実行力』  
 を身につけたテクノロジストを育むたくましい大学になる

**【基本方針】** みんなで進める財政再建と未来づくり  
 ・MVV((Mission:使命/Vision:目指す姿/Values:行動指針))再構築  
 ・学生募集を最重要課題として全学的に注力  
 ・学生募集に資する事業への積極投資  
 ・財政再建の断行

大項目	小項目	目標	2026年度行動計画	リーダー	推進部署	1Q	2Q	3Q	4Q	KPI・目標値
1. 次代を担うテクノロジストの育成										
	(1)テクノロジスト育成教育の進化	○「志」「たくましい知性と実行力」「真摯さ」を備えたテクノロジストの育成 ○テクノロジストを育てるオンリーワンの教育プログラムの企画・展開 ○時代と社会の要請に応える教育分野の再構築	1)学修成果の可視化・デジタル証明化(オープンバッジ)	(学長) 佐久田 高橋 澤本 鎌澤	教務課 教養教育センター 教学計画部会	活用事例の検討・発行				バッジ発行(種類)を拡大
			2)初年次教育の在り方検討			講師招聘によるWS等の開催および検討				学修成果向上・退学率低減
			3)コース再編による科目配当や主専攻副専攻制度見直し等を検討			卒業要件の見直し・履修ガイド・時間割作成 確認				
4)企業との協創による次世代教育プログラム(AI・IoT、BIM等)を構築	AI・IoT関連授業の構築および実施 BIM実習を実施					JLPT取得者率の向上				
5)JLPT(日本語能力試験)上位級取得を目指す留学生向け日本語教育を強化	新規科目の構築 実施・検証									
6)3大学連携による単位互換の実施と検証	実施・検証					単位修得率の向上				
	(2)学生のキャリア形成と学生生活のサポート	○学生・卒業生の評価をフィードバックし、サービスの質向上を継続推進 ○入学前から卒業後まで、経済面を含めたサポート	1)「ものづくり大学の教育に関するアンケート」実施(卒業生対象)	田尻 久力	学生課	実施 集計 公表				卒業時アンケート満足率
			2)学生のキャリア形成と企業の早期採用をつなぐ段階的サポートの充実			実施/変更 検証と見直し				就職率・就職満足度
			3)留学生支援制度の充実			実施/変更 検証と見直し				
			4)奨学金制度の周知徹底による修学困難者を支援			実施				
	(3)大学の魅力創造と発信で選ばれる大学へ	○今年度入試対策&来年度入試制度改革 ○ものづくり教育のすばらしさを伝える営業展開 ○高校生や保護者への広報 ○教育連携関係[連携協定校]からの展開	1)環境変化に応じた入試制度を設計(長期的な視野に立った検証)	田尻 達田 斉藤 岩崎	入試・広報本部	実施とPR 検証と見直し				SNS発信 700件
			2)日本語の能力基準・経費支弁能力等に基づく外国人留学生の適切な受入れ			実施とPR 検証と見直し				
			3)学生による「教育・課外活動・日常」のショート動画の制作・投稿			作成 運用と更新				OC3年生参加者524人 OC参加出願者236人
			4)学科の魅力発信する展示整備			整備 運用と更新				
			5)高校訪問等の営業ツール見直し			作成 運用と更新				
			6)Instagramコンサルを導入し、ターゲット層への認知向上とOC誘導			実施と運用				
			7)WEB広告によるOC誘導実績を計測し、広告運用を最適化			随時				
			8)外部研修による学生スタッフ育成でOC参加者の満足度向上を図る。			実施と運用 効果検証				
			9)オンラインOCやメッセージ配信(準頭在層以下の高校生や遠方の高校生への認知度向上)			作成 運用と更新				高校3年生資料請求件数 6,550件
			10)高校との共同授業(単位認定)や体験学習への参入による認知度向上と志願者発掘			総合的探求の時間に関する授業実施計画の立案・調整				
			11)高校のイベント等への参画			各校のニーズ探索と協力の検討・実施				
2. 社会・産業界・地域ニーズに応える教育・研究										
	(1)社会・産業界・地域の課題解決に向けた取組み	○社会課題解決に向けた産官学・地域連携の推進 ○多様な企業・大学等との教育・研究分野における連携の推進	1)共同研究や競争的資金の受け入れ拡大	岡根 眞鍋 岩崎	もの研 入試・広報本部	随時				研究受入数:50件
			2)共創プラットフォームの展開(ロボティクス社会実装センター、地域木材・森林共生研究センター)			提案・コーディネート・情報発信 評価				情報発信数:10件
3)自治体等と連携した地域課題解決の取組の推進	随時									
	(2)産業界等の人材育成ニーズに応える生涯教育	○企業との持続的関係を構築するパートナーシップ型産学連携の推進 ○産業界のニーズに対応した社会人教育プログラムの提供	1)企業(人事・総務担当等)への組織的な提案活動	岡根 眞鍋	もの研	提案・コーディネート 評価				講座数:3講座
			2)文部科学省事業等を活用した社会人教育プログラムの実施			開催企画 募集・実施 評価				
3. 強くてしなやかな組織による大学運営										
	(1)スピード感のある執行体制の構築	○機動力のある経営・運営を支える機能強化と方向性の共有 ○会議体の見直しと運営の効率化を継続的に実行 ○内部質保証による透明性のある大学運営とガバナンス強化	1)MVVの策定(再定義)と共有	(理事長) 大藤 荒木	経営企画本部 総務課	内容検討 共有 戦略的活用の検討				
			2)組織再編の状況を検証し、業務運営の最適化を検討			検証				
			3)ガバナンス機能健全化のための経費調査の実施			調査 報告				
	(2)やりがいのある職場づくり	○業務の見直しとDX活用による不断の改善 ○新たな施策や業務の改善を提案、実現できる人材育成	1)業務簡素化とITツールを活用した業務の効率化	大藤 達田	総務課	情報収集 まとめ 評価・検討				
			2)学外研修やFSDの充実、若手人材の成長支援、資格補助制度利用促進			周知 実行 まとめ				
	(3)未来キャンパスプランと持続的な財務計画の策定	○未来キャンパスプランの策定 ○中長期施設・設備計画のブラッシュアップ ○経営計画と連動した財務計画の作成	1)収容定員の見直し	澤本 松本 三原 大藤 荒木	教学計画部会 MONOBASE 運営委員会 施設・設備委員会 経営企画本部	届出				
			2)学生アンバサダー制度によるMONO BASEの活性化			検討 運用 検証・見直し				
			3)優先順位による効率的な修繕の実施(大規模修繕計画含む)			検討 計画・実行 実施				
			4)マスタープラン2040のさらなるブラッシュアップと財務との連携			計画 実施				
			5)寄付金獲得に向けた戦略検討			検討 計画・実行 評価・検討				
			6)財務計画の見直しと予算方針の策定			計画見直し・方針検討 共有 調整・検討				